

開催報告【WEB】令和3年度第4回質量分析技術研修会 ～プロテオミクス前処理技術講習～

【開催日時】 2021年9月1日(水) 14:00～16:00 (途中参加・途中退室可)

【場所】 WEB ミーティング(ZOOM)

【世話人】 大阪大学 三宅里佳、奈良先端科学技術大学院大学 西川嘉子、
鳥取大学 横野瑞希、北海道大学 岡征子、名古屋大学 瀧健太郎

【講師】 瀧 健太郎 氏 (名古屋大学)

【参加対象者】 MS測定経験者および今後、測定する予定のある方。

【プログラム】

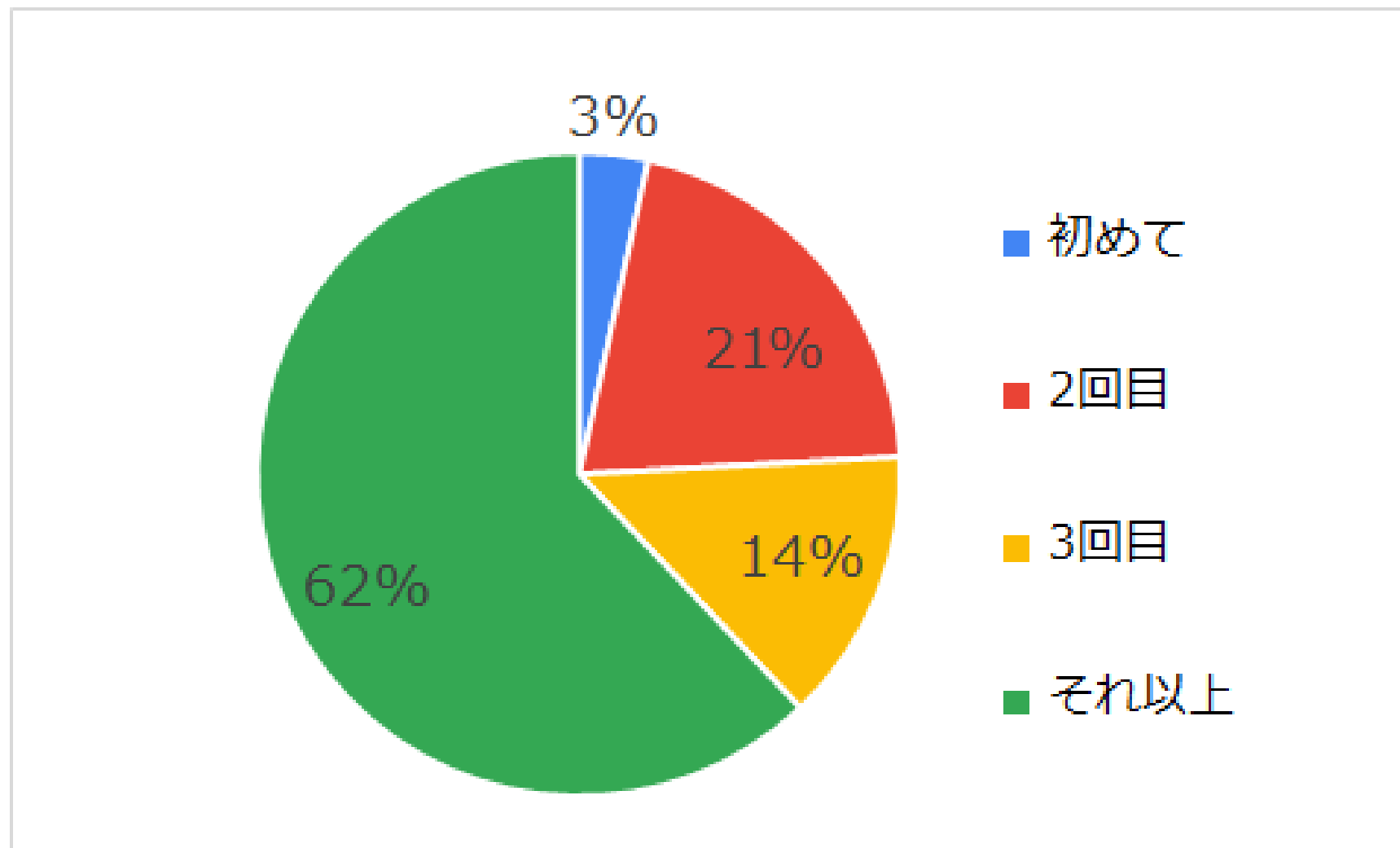
14:00-16:00

1. プロテオミクス前処理の概要
 2. 溶液中消化法のワークフロー
試料調製を始める前に
各工程のノウハウ・注意点
 3. 質疑応答
- 途中休憩(10分)あり

【参加者】 40人

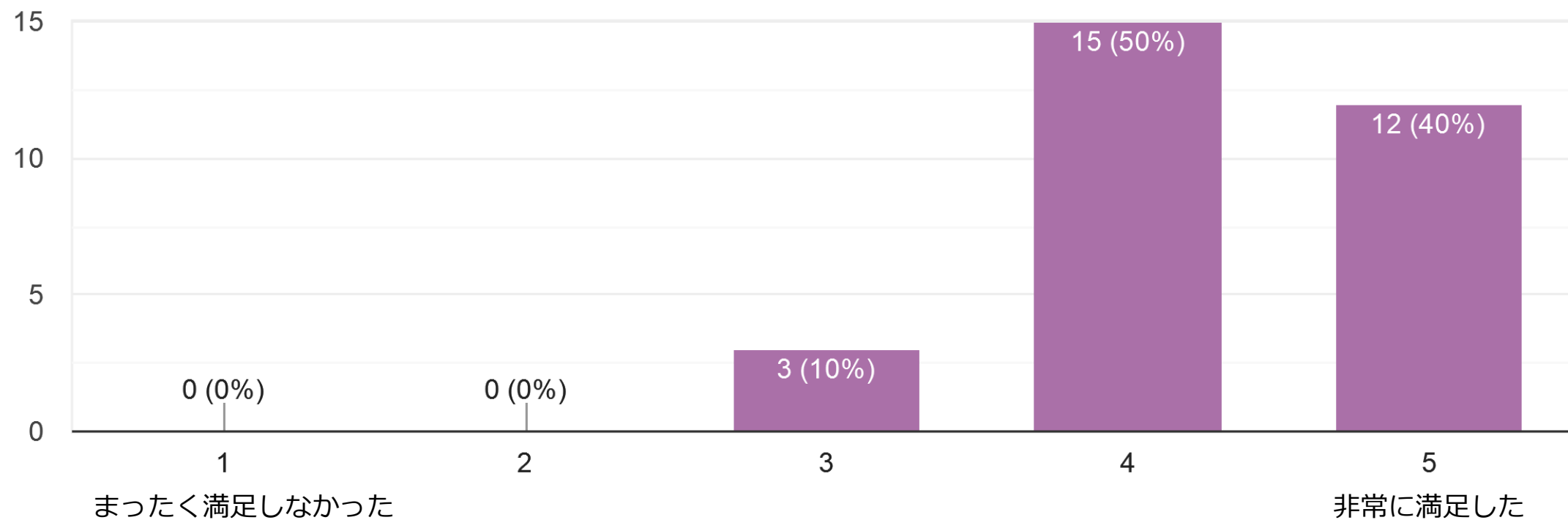
質量分析技術者研修会への参加は初めてですか？

29件の回答



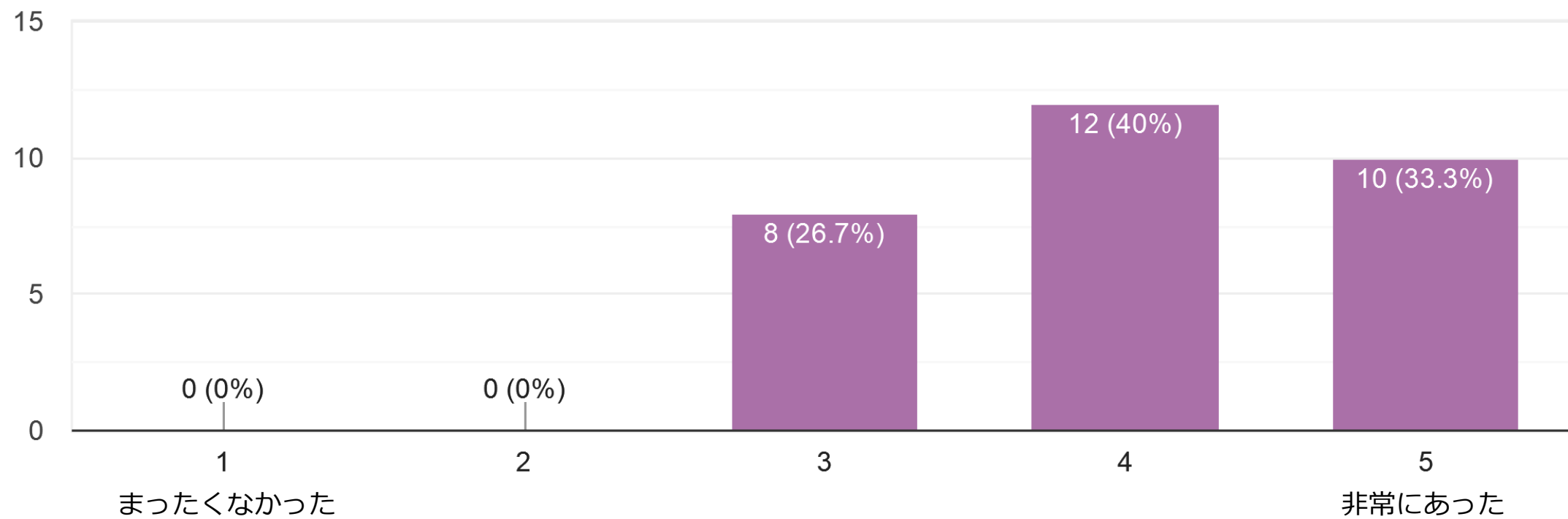
セミナーにはどのくらい満足されましたか。

30 件の回答

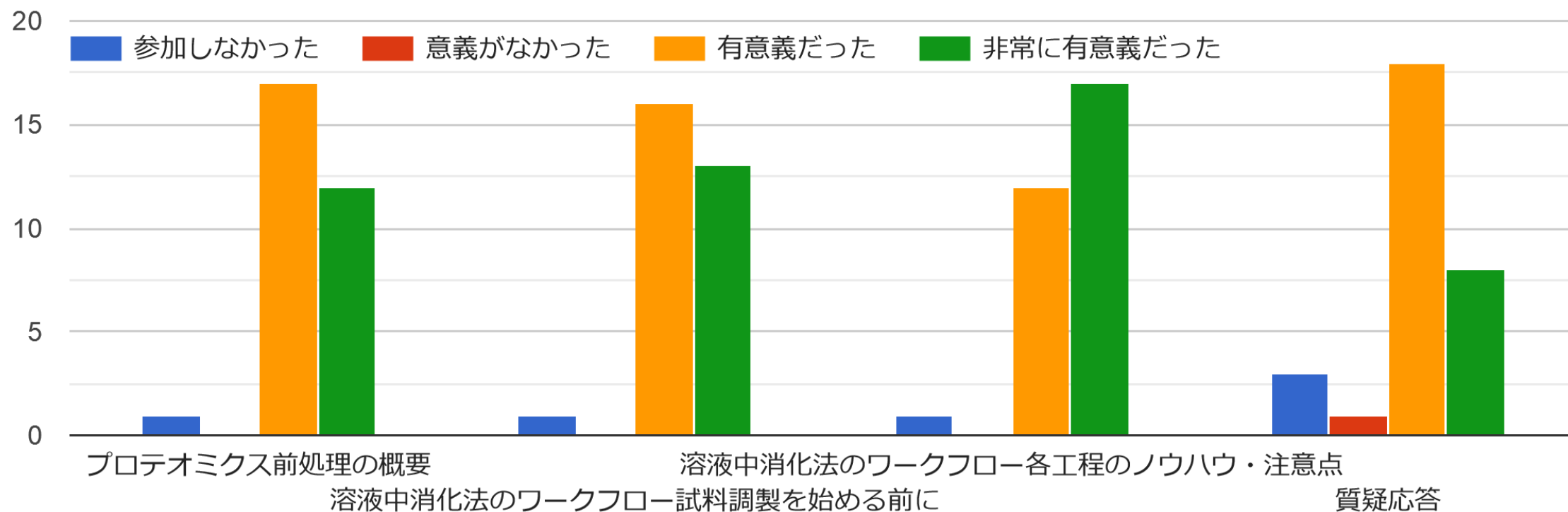


ご自分の仕事との関連性や、仕事に役立つ部分がありましたか。

30 件の回答



セミナーの各セッションは、どのくらい有意義だと感じましたか。



このセミナーの感想をご自由にお書きください。

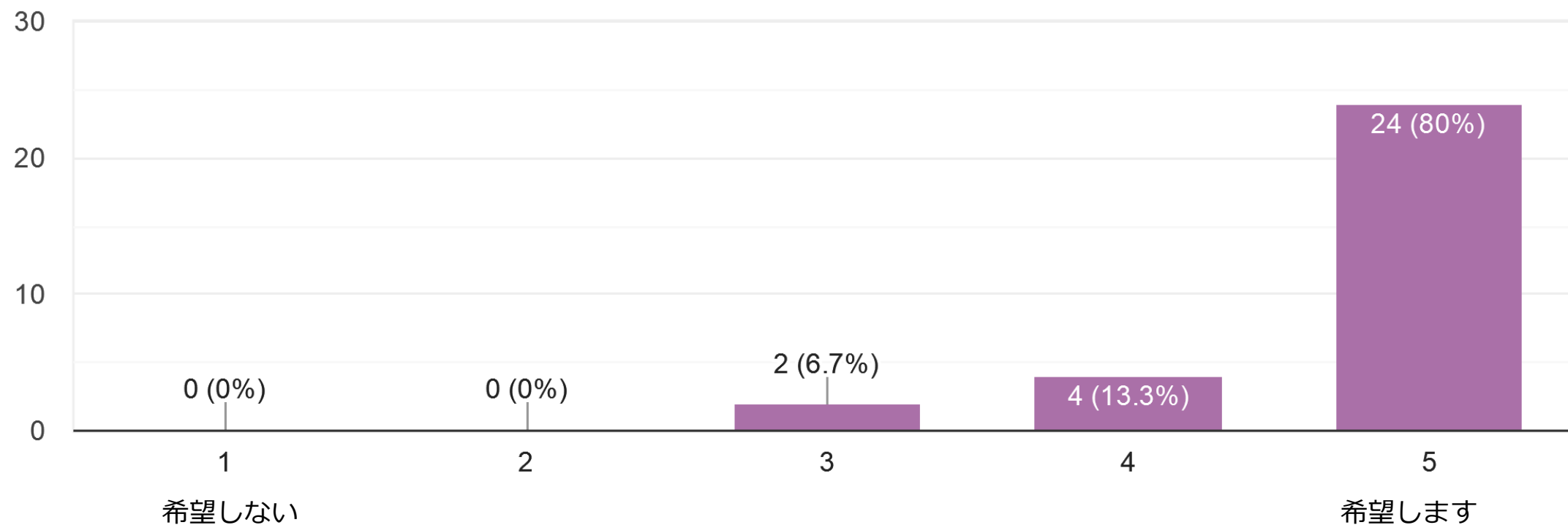
- とても具体的ですぐに活用できる内容でした。ありがとうございました。
- 前半だけしか参加出来なかったが、音声不良で何を言っているのか殆ど聞き取れなかった。
- 自分では前処理をしないが、装置利用者がどのような前処理をしてから質量分析を行っているのか知りたかったため参加しました。基礎から教えていただき勉強になりました。
- 実際の経験によるお話を数多く聞け、ありがたかったです。今実際にプロテオミクスを行っているわけではないですが、来る日のために勉強になりました。ありがとうございます。
- プロテオミクス解析が本学の機器でも可能なのかと思っていましたが、無理という事が分かりました。
- 実際の行程に従って、とても丁寧に教えていただきました。教員の先生にも見せてあげたい内容でした。この動画を公開する、なんてことはないでしょうか？無理ですよね・・・？
いろんなソフトを使いこなす、お話にはなかなかついていけなかったのですが、皆さんいろいろ頑張っておられるのがよくわかりました。
- 前処理方法についてよく分かりました。本研修を受講して良かったです。ありがとうございました。
- 質疑応答では色々答えていただきありがとうございました。

このセミナーの感想をご自由にお書きください。

- ノウハウや注意点を公開していただけたのはありがたかったです。微量サンプルの脱塩濃縮にはスイング式の遠心機を使用することに、なるほどと思いました。
- タンパク質、ペプチドの分析を行ったことはなかったため、今後その機会ができたときの勉強になりました。
- とても分かり易く丁寧にご説明頂きありがとうございました。扱う実験材料が多様であるため、前処理方法を検討する必要があること、また、完璧なプロトコルがない、という一説がとても印象に残りました。生物種や部位の特徴を捉え、どのような夾雑物が推測されるのか、事前の情報収集に重きを置いて準備を進めていきたいと思います。
- 操作や注意点を細かく教えていただき、大変参考になりました。
- 似たような問題を抱えることがあり、自身の解決方法と同じだったり、違う視点の話もあり、ノウハウや注意点が参考になった。
- いつも大変勉強になります。

今後もこのようなセミナーの開催を希望されますか。

30 件の回答



今後企画してほしいセミナー内容やご意見ございましたらご記入ください。

- みなさんは質量分析を教える時にどうやって教えていますか？座学から？実践から？
- いつも有意義なセミナーを企画、運営して下さいありがとうございます。目的物質の定量分析方法についてお話を聞いてみたいです（標準物質の検量線による定量、また、プロテオミクス解析ではiTRAQによるラベリングでの定量など）。



